

第2学年 生活科学学習指導案

令和元年7月4日(木)

松江市立島根小学校

担任

司書教諭

学校司書

1 単元名 まちたんけんパート1 ～桂島のキラリを見つけよう～

2 単元目標

- 身近な地域の人々や場所のことを知りたいという関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気をつけて、探検をしようとする。(生活への関心・意欲・態度)
- 知りたいことややってみたいこと、相手や目的に応じた適切な行動などについて考えながら活動の計画を立てて、町探検をすることができる。(活動や体験についての思考・表現)
- 町探検を振り返って伝えたいことを選び、調べて分かったことや気付いたことを絵や文で表現することができる。(活動や体験についての思考・表現)
- 身近な自然やそこにいる生き物と関わることの楽しさに気付いたり、地域で生活している人々の、地域や自分たちへの思いに気付いたりし、地域の中で愛着のある場所や人を増やす。(身近な環境や自分についての気付き)

3 本単元に関わる情報リテラシー（松江市の学び方指導体系表より）

- ・ C 話すこと、書くことを選ぶ（課題の設定） ・ E 人に聞く（人からの情報）
- ・ F 図鑑を使う（図鑑の利用） ○ J 付箋やカードに書く（情報の取り出し）
- ・ K 理由を考える（情報の整理）

4 基盤

（1）教材観

本単元は、学習指導要領の内容（3）「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」に基づいて設定している。また、内容（5）季節の変化と生活、内容（8）生活や出来事の交流に関連させて設定している。本単元では、身近な地域へ出かけ、自然を生かした活動に取り組んだり、そこで出会う人々と接したり、見つけたことや感じたこと、調べたことを伝えたりする活動を通して、自分たちの住む町への親しみや愛着の気持ちを高めたり、自分の生活とのかかわりに気付いたりすることをねらいとしている。具体的には、町探検として、身近な生活圏である加賀地区の桂島に出かける「海となかよし」の活動を中心として単元を構成していく。「海となかよし」の活動を振り返り、みんなに知らせたいこと、もっと知りたいことを自分で考え、その課題を解決していくことで、活動

を支える地域の人々の存在や思い、身近な自然である桂島のよさ、自分たちで見つけたことを伝える楽しさを体験させることができると考える。また、下学年の1年生とともに行う活動であるため、グループ活動などにおいてルールやマナーを進んで守り、安全で適切な行動をリードしていこうとする意欲や態度を育てることもできると考える。さらに、見つけた海の生き物について図鑑で調べる活動や、聞いたことや体験したことをもとに伝えたいことを選んだりまとめたりする活動は、司書教諭や学校司書と連携して指導にあたることで、上記3の情報リテラシーの活用や習得を図ることができると思う。

(2) 児童観

<削除>

(3) 指導観

指導にあたっては、本校の研究仮説①「児童の興味関心を生かした学習課題を設定したり、課題解決に向けて何をすればよいか課題解決の方法の指導を工夫したりすれば、問いをもち、自ら解決しようとする子どもを育てることができるであろう」をもとに、以下のような指導を工夫したい。

① 問いのもたせ方の工夫

本単元での町探検の行き先は1か所に絞られるが、地域の方が貝汁づくりに関わってボランティアで参加してくださったり、保護者の協力のもと安全面に配慮して自然の中でのダイナミックな活動を展開したりすることができる環境を生かして指導計画を立てることで、活動を通して子どもたちに様々な疑問や関心をもたせるようにしていく。また、島根町の海の生き物の写真カレンダーや桂島を訪れている人の写真を小単元の導入に使い、町探検への興味や関心を高めるようにする。町探検後の課題作りの際には、付箋を使い、内容の仲間分けや比較をし、気付きを広げることができるような指導を行う。また、受け身の学習ではなく、一人一人の興味を生かし、自分で調べたいことを決め、調べるための方法を考え、調べたことを記録したり整理したりして伝えていくという課題解決の方法の指導を、ステップごとに行っていくようにする。課題解決にあたっては、地域の方や家族へのインタビューが考えられる。日頃から校外活動などのサポートをいただいている地域学校協働活動推進員の方や保護者との連携を生かし、協力を得るようにしたい。

② 学校図書館の活用

海の生き物について調べたい子どもたちが多くいると思われる。図鑑の準備、事前の図鑑の使い方指導、情報カードの記入の仕方など、司書教諭や学校司書と連携して指導にあたるようにする。また、児童が調べ学習の過程で使用する調べカードやインタビューカードなどの記録カードについても、2年生の児童が使いやすいものを作成したい。

本時は、自分が見つけた桂島のよさを伝え合い、その中から1年生に紹介したいことを選び、グループで話し合う活動である。

「ねらいを知る」場面では、自分たちが実際に行った桂島での清掃活動の様子の映像を提示することで、地域の自然や場所を大切にしようとする地域の人の思いを確認するとともに、1年生に伝えることのイメージをもたせたい。

「伝え合う①」の場面では、自分がこれまでカードに書いたり、調べたりしたことをグループの友達と伝え合う活動を行う。「わたしのキラリは、(どこ、だれ、なに)です。キラリと思ったわけは～」などの話型も必要に応じて活用させることで、よさを感じる対象への思いを表現させる手立てとする。感想を伝え合う際に付箋を活用し、何について話しているかを分かりやすくしていく。

「考える」場面では、1年生に伝えるという相手意識をもって選ばせるようにし、自分が紹介したい「キラリニュース」を選んだ理由を付箋に書かせておく。選ぶことはできても選んだ理由を表現できない児童を、司書教諭にサポートしてもらうようにする。

「伝え合う②」では、それぞれが選んだものを出し合い、紹介したいことの内容ごとにグループを決めていく。つぎに、自分が紹介しようと思う「キラリニュース」とその理由について新しくつくったグループの友達と伝え合い、自分たちのグループが紹介するニュースについて確認をする。その際、同じような内容を選んでいても、選んだ理由が違ってないか、どんなことについてよさを感じているのか等を聞き合うように助言し、それぞれの思いや考えに着目できるようにしたい。

5 単元指導計画及び評価規準（全14時間）

次	時	主な学習活動	評価			
			関・意・態	思考 表現	気付き	評価規準（方法）
第一 次	1	・自分の住んでいる地区のお気に入りの場所やおすすめの場所を紹介し合う。	○			・身近な地域の人々やさまざまな場所に関心をもち、自分の知っていることや場所を紹介しようとしている。 (発言、ワークシート)
第二 次	2	・町たんけん（海となかよし）の計画をたてる。		○		・場に応じた適切な行動や安全な行動について考えながら、探検の計画を立てている。(発言、ワークシート)
	3 4 5 6	・町探検に行く。 ・生き物を見つける ・地域の方が作った貝汁をいただく ・ビジターセンターに行く		○	○	(思) 探検する場所や出会った人に関心をもち、ルールやマナーを守って町探検をしている。(行動・発言) (気) 探検に関わっている人々の存在や身近な自然とそこにいる様々な生き物の様子に気付いている。(発言)
三 次	7	・町探検についての振り返りをし、自分が見つけた		○		・探検したことを振り返り、見つけたり感じたりしたことを付箋

第 四 次		桂島のキラリをカードに書く。 (C) 話すこと、書くことを選ぶ (課題の設定) (J) 付箋やカードに書く				に書き、自分が伝えたいことを選んでカードに書いている。 (ワークシート、発言)
	8 9 10	・自分が見つけた桂島のキラリについて、もっと知りたいことを調べたり、詳しく伝えるためにカードに絵や説明を考えたりする。 (E) 人に聞く (J) 付箋やカードに書く (F) 図鑑を使う	○	○	○	(関) 知りたいことを調べるための方法を考え、進んで調べようとしている。(行動観察、カード) (思) 調べたことや感想を記録カードに書いている。(カード) (気) 身近な自然の様子やそこにいる生き物、活動に関わる人々について、自分なりに感じたよさに気付いている。(発言、カード)
	本 時 11	・自分が見つけたり調べたりした桂島のキラリについて発表し、1年生に紹介したいことを選ぶ。 (J) 付箋やカードに書く (K) 理由を考える。		○		・1年生に紹介したいことについて、理由を添えて友達と話し合っている。 (発言、付箋、行動の観察)
	12 13 14	・グループで発表の準備をする。 ・2年生の友達と発表し合う。 ・1年生を招いて発表会をし、学習のまとめをする。		○	○	(思) 伝えたいことや理由が伝わるように、絵や文を工夫して書いている。(カード、発言) (気) 地域には、様々な場所や人、ものがあることや、それらと自分たちの生活のかかわりに気付いている (発言、ワークシート)

6 本時の学習（11 / 14）

（1） 本時の目標

自分が見つけた桂島のよさを伝え合うことを通して、1年生への発表会で紹介したいことを決めることができる。

（2） 本時に関わる情報リテラシー

- ・ J 付箋やカードに書く（情報の取り出し）
- ・ K 理由を考える（情報の整理）

(3) 展開

	主な学習活動	教師の支援 (T1 : 担任 T2 : 司書教諭) ◆評価
ねらいを知る	1 本時のめあてを確認する。 「かつらじまのキラリ」をはっぴょうしあって、1年生にしょうかいしたいことをえらぼう。	T1 桂島清掃活動のニュースの映像を提示し、1年生に伝えることへの意欲を高める。 T1 本時のめあてと学習の流れを提示して確認し、見通しをもって活動できるようにする。
伝え合う①	2 自分が見つけたり、調べたりした桂島のキラリをグループで発表し合う。 ○自分が見つけたキラリを発表する。 ・ビジターセンターでできること ・貝汁について ・生き物の種類や生き物について ○友達の発表について感想を伝える。	T1 前時までに書いたカードを、発表する順に並べて用意させておく。 T1 初めて知ったことや1年生に伝えるとよいと思った内容について感想を伝えさせるようにし、次の各自で考える活動につながる手立てとする。 T2 感想を伝える内容が書いてあるカードに付箋を貼るようにさせ、何について伝えているかを分かりやすくする。
考える	3 1年生に紹介したい「キラリニュース」を各自で選ぶ。 ○「自分がどうしてそのキラリをおすすめしたいのか」という理由をカードに書く。	T1 自分が選んだ学習の記録物に付箋を貼らせ、選んだ理由を短い言葉で書かせる。 T1 早く選べた児童には、2つ目の候補を選ばせるようにしておく。 T2 一人で決められなくて困っている児童には思いを聞き、友達が貼った付箋に注目させ選ぶ支援をする。
伝え合う②	4 自分が紹介したい内容について、全体で伝え合い、1年生に紹介する「キラリニュース」を決める。 ○各自が選んだものを全体で確認する。 ○関わりがある内容の友達とグループをつくる。 ○グループの友達と自分たちが紹介したい「キラリニュース」について話し合う。	T1 グループ活動の手順を提示し、活動を自分たちで進めていくことができるようにする。 T1 カードを見せながら、自分が選んだ理由を話させるようにする。 T2 話し合いがうまく進まないグループについては、進行の補助をする。 T2 時間があれば、各グループがどんな内容を選んだのかを発表させるようにする。 ◆1年生に紹介したいことについて、理由を添えて友達と話し合っている。(発言、付箋、行動観察)
ふりかえる	5 本時の振り返りをする。	T1 めあてにそって振り返りができるように、振り返りの観点を示す。(自分たちがその内容を選んだ理由) T1 1年生に伝えるときに使うとよいポスターの例を教科書を使って紹介し、次時への意欲を高める。

(4) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	概ね満足とされる児童の姿	支援を必要とする児童への手立て
1年生に紹介したいことについて、内容や理由を分かりやすく伝えたり、友達に質問したりしながら話し合っている。	1年生に紹介したいことについて、理由を添えて友達と話し合っている。	付箋に書いてある選んだ理由を一緒に話したり、本人が話せるようにグループの友達が質問したりするように助言する。

(5) 協議の視点

1年生に紹介するニュースを自分なりの思いや考えをもって選ぶために、これまで学習したカードを使ったり、付箋を使って感想や自分が選んだ理由を伝え合ったりしたことは、有効であったか。

7 研究協議の概要

参加者	校内 10名、校外 35名 計 45名
授業及び研究協議の概要	(授業の概要) 本時は、自分が見つけた桂島のよさを1年生に伝えるために紹介したいことをグループで決める活動をした。 (研究協議の概要) ・地域を題材にした活動計画がよく考えて立てられていた。 ・取材方法として、一番適したものを子どもたちが選び、実際に取り組ませる。そこで、失敗することを恐れない、失敗してもそれを活かすような学びができるとよい。 ・子どもたちにどんな力をつけたいかを考えて図書館を活用してほしい。 ・「伝え合い」とは、「自分の伝えたいこと」「相手が知りたい、知ってうれしいこと」の隙間をどれだけ埋めるかがお互いの学びになる。自分の感動体験が他の人にとって価値のあるニュースへ昇華するまでにどんな活動を組むかが大切。 ・学習の最後には、子どもたち一人ひとりがめあてについて振り返ることが望ましい。 ・単元構想モデル案では、2学期にこの単元のパート2があるようなので、必然的に図書館を使うことになるのでは。そうあってほしい。 ・これまでに司書教諭が図鑑の使い方を指導したり、学校司書が関連図書を紹介したり、話し合いの授業に入ったりしたことで、情報活用リテラシーの力は向上したと思われる。 ・単元にかかわる中心となる情報リテラシーは、指導案では＜J 情報の取り出し＞＜K 情報の整理＞となっていたが、＜K＞のほうのみではなかったか。

インタビューカード

月 日	名前
--------	----

☆聞いた人

--

☆聞きたいこと

○

☆わかったことメモ

○
